

# 卒業生状況調査(2026年度実施)

**調査目的** 卒業生の状況把握を行うことでより良い学生支援へつなげるとともに、教育活動の見直しや改善を行い、教育内容の充実や社会で活躍する人材の育成等に活用することを目的とする。

**調査実施日** 2026年8月26日～2026年9月8日

**調査対象** 卒業後1、3、5年目の卒業生

**調査方法** メールに記載のURLよりMicrosoft Formsにアクセスして回答。

**調査件数** 1,516件(内訳:2022年3月卒業:544件、2024年3月卒業:510件、2026年3月卒業:462件)

- 調査内容**
- 1. 卒業後の就職先
  - 2. 入職時期
  - 3. 職務内容
  - 4. 現在の状況
  - 5. 退職理由(退職した方のみ)
  - 6. 勤務先の良いと思う部分について
  - 7. 勤務先で改善して欲しい部分について
  - 8. 在学中に身についたこと
  - 9. 在学中に受けた教育内容やサービスは現在の仕事に活かしているか
  - 10. 就職を希望する学生に伝えて欲しいこと

**調査結果** ■回答件数

161件(企業:92件、病院・施設:21件、公務員・学校:38件、進学・不明:10件)  
(内訳 2022年3月卒業45件、2024年3月卒業43件、2026年3月卒業73件)  
＜参考＞昨年度回答件数:241件(企業:139件、病院・施設:33件、公務員・学校:51件、進学・不明:18件)

■現在の状況

|        |    |     |
|--------|----|-----|
| 企業     | 在職 | 75件 |
|        | 退職 | 17件 |
| 病院・施設  | 在職 | 18件 |
|        | 退職 | 3件  |
| 公務員・学校 | 在職 | 30件 |
|        | 退職 | 8件  |

■退職理由

多くがスキルアップや希望業種・職種への転職、ライフステージの変化を理由としてあげていた。しかし、長時間労働や体調不良による退職も数件あった。

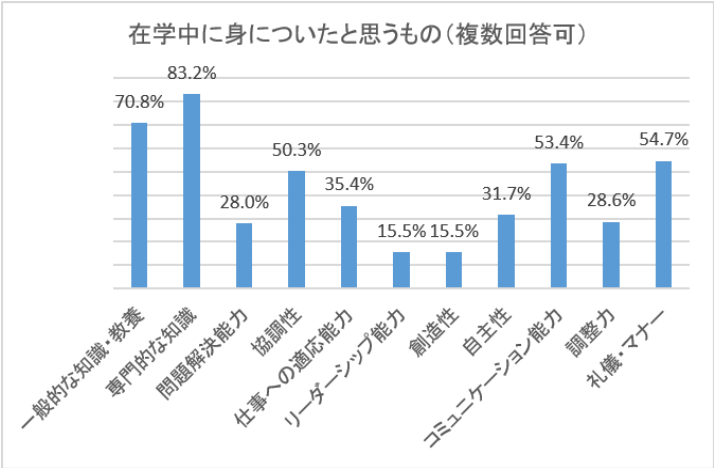
■勤務先の良いと思う部分について

資格を活かした業務を担当できている、やる気があればどんなことにも挑戦させてもらえる、1年目からメニュー開発に関わることができる等の回答が多いことから、卒業生は良い職場環境で職務に励むことができていると考えられる。また、福利厚生や休暇の取得状況、服装・身だしなみ、研修や教育制度についても多くの回答があり、卒業生からの貴重な情報として就職支援に役立てていきたい。

■勤務先の改善して欲しい部分について

残業時間、給与や手当についての意見があった。また、入職後の業務内容に対する意見もみられた。

■在学中に身についたと思うこと



半数を超える回答者が「一般的な知識・教養」「専門的な知識」が身についたと答えており、一定の教育効果が感じられる。一方、「リーダーシップ能力」「創造性」は2割に届かず、今後、これらの強化が課題である。

■ 在学中に受けた教育内容やサービスは現在の仕事に活かしているか

グループワークや実習での経験は、協調性や傾聴力の向上につながっており、在学中に得た経験や学びが現在の仕事に活かされているとの回答が多く見られた。特に、グループワークを通じて仲間と協力しながら問題解決に取り組んだ経験は、社会に出てからもさまざまな場面で役立っているとの声が多く寄せられた。

■ 就職を希望する学生に就職課より伝えて欲しいこと

「今、目の前のことを全力で吸収して自分の力にできたら、仕事にも自分の生活にも絶対に活かせる分野です。私は食に関わる仕事をしていますが本当にこの大学に行って良かったと思います。」

「早めに行動するのが1番です。また、いろいろな経験(例えばワークショップやボランティア)をした方が、就活で活かれます。(食品メーカー)」

「自分がどんなことなら頑張れるかが大事。やりたい仕事があるのも素晴らしいがあまりピンとこない人は嫌いじゃないことを探すのもありだと思う。やっていて苦じゃない、嫌いじゃないって思えることも意外と続けられる。(受託給食会社)」

「進路について不安ばかりだとは思いますが、自信はあとからついてきます。まずは思い切って進んでみてください。(行政)」

「一時期は進路や学業に迷いや不安がありましたが、大学の先生方を信じて頼ればなんとかなりました。また、友達が存在が大きく、仕事において大きな支えとなっています。(養護教諭)」

「準備が9割だと思います。将来のことを真剣に考えることはときにとても不安になりますが、先生方はときに厳しく、でも本当に丁寧にサポートをしてくれます。絶対に力になってくださいます。応援しています！！(家庭科教諭)」